opusdei.org

2. 東方の星とは何の ことでしょうか。

東方の星については聖マタイが福音書の中で述べています。エルサレムで博士たちが尋(たず)ねます。

2014/02/04

お生まれになったユダヤの王はどこにおられますか」(マタイ2,2)。聖マタイと聖ルカによる福音の最初の二章はイエスの幼年時代のいくつかの出来事を記しています。「幼年期の福音」と呼ばれる由縁(ゆえん)で

す。星は聖マタイの「幼年期の福 音」に現れます。幼年時代を語る福 音はいずれも他の福音書と多少異な る特徴を備えています。旧約聖書を 呼び起こすことが多く、各々の出来 事に深い意味が読み取れます。とい うわけで、幼年期の福音書の歴史性 を、福音書に現われる他の出来事と 同じように検討するわけにはいきま せん。また、同じ幼年期に関する記 述であっても違いがあります。聖ル カの場合、幼年期は福音書の第一章 に書かれてあり、聖マタイの場合 は、テキスト全体の要約と言えま す。博士たちに関する箇所では(マ タイ2.1-12)、イスラエルに属して いない異邦人が数人現れます。彼ら は研究と人間的な知識(星)を通し て、神の啓示を発見します。しか し、イスラエルの聖書の助けを得な ければ、真理を十全に知ることがで きません。

福音書が書かれた頃は、重要な人物 の誕生や重大な出来事が生じる時、 それを告げる不思議な出来事が天に 起こると信じられていました。異邦 人の世界でも(スエトニオやキケロ の著作参照) ユダヤ人の間でも(フ ラビオ・ジョセホ) 同じでした。さ らに、民数記の22章から24ではひと つの御告げを記しています。「ひと つの星がヤコブから進み出る。ひと つの笏(しゃく)がイスラエルから立 ち上がる | (民数記24.17)。この章 句はメシア (救い主) に関する救い の御告げであると解釈されていまし た。このような点が星の印を適切に 解釈するための背景になります。

近代の聖書解釈学では、当時の人々が特別な出来事と解釈した自然現象とは何であったかについて問いかけました。仮説は主に三つあります。
1)すでに、12世紀、ケプラーは新しい星・超新星について書いています。それは非常に遠いところにある

星で、爆発が起こり、その星の光は 数週間持続するので地上からも見る ことができる。2) 彗星(すいせい) である。彗星は規則正しい軌道では あるが楕円軌(だえんき)線(せん)に 従って太陽の周りを運行する。最も 遠い軌道は地球から見ることができ ないが、ある一定の期間近づいたと きには観察できる。これはマタイが 記述するしるしと一致するようで す。しかし、地球で観察できる彗星 の出現は聖書のいう星の時期と一致 しません。3)木星と土星の出会 い。ケプラーはこれについても注意 を呼び起こしています。この現象は 定期的に発生します。計算が正確で あるとすれば、紀元後6~7年に起 こったと考えられます。これは研究 によってイエスの誕生のときである と言われています。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/2-dong-fang-noxing-tohahe-nokotodeshiyouka/ (2025/12/16)